

シグマギタースクール

第6回発表会

プログラム



入場自由

……………お気軽にお入り下さい

平成7年12月3日(日)メイプルセンター

開場; PM12:30 開演; PM1:00

主催; シグマギタースクール

ごあいさつ

今年も早くも師走、一段とあわただしさを増している季節ではありますが、本日シグマギタースクール・第6回発表会にご来場くださいました皆様には心よりお礼申し上げます。今年には様々な行事の関係上、例年10月に行っていた発表会ですが、2月遅れの発表会になってしまいました。しかし、今日出演する生徒さんはより一層練習に励んだようです。是非最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

ところで、「ギター」という楽器は当たり前のことですが「指」を使って演奏します。「上手に弾く」ということは指が柔らかくて動きやすい指である、と言う事です。では、「柔らかくて丈夫で神経の良く伝わる指」というのは本来人間が備えられていたものでしょうか？いいえ違いますね。大部分は後天的に訓練によって作られていきます。その指を作らんが為に「練習」「訓練」が行われています。では、何人も訓練によって「理想の指」を持てるのでしょうか。これもまた、十人十色、千差万別で必ずしも訓練のみで作れるものでもありません。それでは、一部の身体的に恵まれた人しか思い通りに演奏できないのでしょうか？その結論が「スポーツ」と「芸術」の大きな違いです。「スポーツ」では「結果」が歴然としています。「勝ち・負け」「時間」を競い、結果をはっきりさせなければなりません。「音楽」がいろいろな人に愛されていることの一つに「自らプレイできる楽しみ」があります。そんなにテクニカルではない作品で、心を打つ名曲が一杯あります。また、演奏の仕方でも、遅く弾いても「早く感じさせる」事ができます。本来人間は「不完全な指」をしていますから、「不完全なまま」で良い演奏ができるのが音楽のいいところだとも思います。逆に「完全な技術」から生まれる演奏が必ずしも「心打つ名演奏」とは限りません。「ギターを弾くロボット」が以前博覧会で展示されたことがあり、“アルハンブラ宮殿の思い出”を完璧に演奏するのですが、「感心」するけれど「感動」を伴わないのです。要は「生きた音楽」は「生きた人間が生き生きと」演奏することによって「感動」するわけですね。今日ご来場下さいました皆様に「生（ナマ）」の音をお届けしますので、どうぞ暖かい拍手をお願いしたいと思います。

本日の発表会の開催にあたり、関係者各位には心よりお礼申し上げます。

1995年12月3日（日） シグマギタースクール 加藤繁雄

プログラム

《独奏》

NO	曲名 (作曲～編曲)	演奏者
1.	マリア・ルイサ (J. サグレラス)	町田 哲平
2.	タンゴ (F. ターレガ)	北村 戌
3.	アンダンティーノ (F. ソル)	高木 志猛
4.	歌と舞曲 (V. ガリレイ)	佐野 真由実
5.	鐘の響き (J. ペルナンブーコ)	柏原 亮太郎
6.	ラリアーネ祭 (L. モツアーニ)	三宅 英文
7.	ワルツ Op. 8-4 (A. バリオス)	小沢 加津子
8.	マズルカ・ショーロ (H. ビラ＝ロボス)	金山 茂弘
9.	練習曲第11番 (H. ビラ＝ロボス)	栗田 洋一
10.	最後のトレモロ (A. バリオス)	伏見 晃司
11.	セビリア (I. アルベニス)	〃
12.	郷愁のショーロ (A. バリオス)	吉田 利克
13.	前奏曲第3番 (H. ビラ＝ロボス)	鈴木 大三郎
14.	ショーロス第1番 (H. ビラ＝ロボス)	千葉 崇之
15.	カヴァティーナより“プレリュード” (A. タンスマン)	原 静雄

《重奏》

15. 小さな世界 (R. シャーマン～加藤編) 赤山留衣 (1st) 加藤先生 (2nd)
16. 踊り明かそう (F. ロウエ～加藤編) 雀重奏団 有坂弘之 (1st) 鈴木盛夫 (2nd)
17. 7つの子～夕焼けこやけ (本居長世・草川信～加藤編) 加藤先生 (3rd)
18. 巡恋歌 92 (長渕剛～加藤編) 赤山裕樹 (1st) 森 真路 (2nd) 加藤先生 (3rd)

《合奏》

19. 星メドレー (加藤編) 演奏；木曜合奏団
(一番星見つけた～きらきら星～冬の星座～星の世界～星に願いを～たなばた～見上げてごらん夜の星を)
1st. 大島 陸、加藤先生 Prim. 福田 学、川路裕也、宮崎勢津子
2nd. 大島まゆみ、柏原亮太郎 Bass. 平林一美、大村信幸
A. C. 川路礼子 Gr. 高木志猛
20. 2つのバイオリンのための協奏曲BWV1043 (J. S. バッハ～加藤編) 演奏；ザ・ステア
I. Vivace II. Largo ma non tanto III. Allegro
1st. solo 加藤繁雄 1st. 吉野秀子、吉原玲子 Prim. 伏見晃司、小泉康朗、山本洋司
2nd. solo 原 静雄 2nd. 金山茂弘、吉田利克 Bass. 平林一美、鈴木大三郎
C. B. 柏原亮太郎

(プレゼント演奏) 加藤繁雄……コユンババ (C. ドメニコニ)

I. Moderato II. Mosso III. Cantabile IV. Presto

<作品“コユンババ”について>

通常のギターの調弦を大幅に変化(スコタチュラ)させ、開放弦がDm(①弦からファ・レ・ラ・レ・ラ・レ)となるようにして演奏します。パストラル(田園曲)の4つのムーブメント、コユンババはトルコ西南部を訪ねたときに見た美しい小川によって導かれた曲です。“コユン”は「羊」、「ババ」は「父」を意味し、羊の守護神として崇められている古い聖者の名前が“コユンババ”です。エキゾチックな美しい作品です。

Let's
Begin!!

生徒募集中!!



- ★ギターの世界は学ぶことです。
- ★しかし、難しく考えることはありません。
- ★自然に上達していくのがわかります。
- ★さあ！1度見学に行ってみましょう！！

各種の講座

- A. ギター基礎コース これからギターを始めたいと思っている人のためのコースです。どんなジャンルの音楽を学ぶ場合でもこのコースから始めて下さい。最も速く上達します。レッスンは毎日午前11時から夜10時まで行っています。
- B. エレキギターコース 若者に人気のエレクトリックギターを易しくていねいに、そして楽しくレッスンします。
- C. 和声学コース コードの正しい知識やコードの進行方法などを知れば、作曲や編曲は思いのままです。あなたの音楽ライフをいっそう充実させるためにも是非受講しましょう！
- D. キーボードコース キーボードはギターをマスターした人にとっては、とても簡単にできます。副課として最適です。

